

慶應義塾湘南藤沢 中等部

所在地 / 〒252-0816 藤沢市遠藤5466
 TEL / 0466-49-3585・3586
 学校長 / 尾上 義和
 創立 / 1858年に福澤諭吉によって創立された蘭学塾を前身とする慶應義塾により、1992年、高等部とともに開校。
 URL / www.sfc-js.keio.ac.jp

	1年	2年	3年
男子	114名	80名	91名
女子	104名	84名	83名
クラス数	6組	4組	4組
中高総生徒数 / 1281名 併設小から 約23%			



〈交通アクセス〉
 小田急江ノ島線、相模鉄道いすみ野線、横浜市営地下鉄線「湘南台」駅よりバス15分
 JR東海道本線「辻堂」駅よりバス21分

「異文化交流」と「情報教育」を軸に国際社会に羽ばたく力を養成

歴史と伝統を継承しつつ、未来を見据えて国際的に活躍できる「先導者」の育成に努めています。教育目標は知性、感性、体力のバランスを大切に、生徒一人ひとりの教養を高めること。なかでも語学と情報リテラシーを重視しており、7か国12校との交換留学プログラム「異文化交流」と、充実したICT環境を駆使する「情報教育」の2つは、同校の核ともいえるものです。校風は明るく自由で、帰国生が中等部全体の約20%を占めるのもポイントです。2019年度から慶應義塾横浜初等部の卒業生を受け入れています。

スクールライフ

●教育内容

中高一貫教育で、異文化交流と情報教育を大きな柱としています。英語教育には特に力を入れており、「英語について学ぶ」のではなく、「英語で何かができるようにする」ことを目標に、全学年で少人数習熟度別授業を行うほか、外国人講師による授業が週2～6時間あります。情報教育は中2・3で週1時間の「情報」を軸に、コンピューターやネットワークのリテラシー教育を行います。英語以外の主要教科では基礎の確実な習得に努め、国語では文学作品のコンピューター・イメージ作成など、情報教育との連携も行っています。

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	5	4	5	4	4
2年	6	4	5	4	3
3年	6	4	4	4	4
合計	17	12	14	12	11

- ◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限
 ※土曜日は4時限
- ◎登校時間：8時40分

マネーガイド

■2019年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	340,000円	430,000円	270,000円	25,000円	1,065,000円
初年度総額	340,000円	860,000円	270,000円	25,000円	1,495,000円

※制服代を除く
 ※期日までに入学辞退を申し出た場合、入学金以外を返金

●部活動

中高合同を含め31の部があります。中等部の活動は週4日以内で、原則として日曜日は休みです。弓術部は例年、関東大会以上に進出しています。

- 文化系 / 演劇、吹奏楽、室内楽、合唱、美術、SFC新聞、コンピューター、クッキング、ESS、理科、棋道、歌留多、茶道、創作、電子工学研究会など
- 体育系 / バスケットボール(男女別)、硬式テニス(男女別)、サッカー(男女別)、剣道、柔道、空手、フェンシング、水泳、弓術、競走、軟式野球(男子)、バレーボール(女子)、体操(女子)、ソフトボール(女子)など

●行事

合唱コンクール、文化祭、球技大会のほか、留学生も加わり、国際交流の場にもなっている体育祭などがあります。また、東京六大学野球の慶早戦応援にも参加します。

●修学旅行・研修旅行

旅行週間には、中1は富士山麓自然教室、中2は東北旅行、中3は四国・広島修学旅行、高1は北陸旅行、高2は奈良・京都旅行、高3は北海道修学旅行を実施。海外短期留学プログラムとしては、中3～高3を対象にアメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、シンガポール、韓国交換留学などがあります。

- ◎寄付金：①慶應義塾債1口10万円、3口以上(任意) / ②教育振興資金1口3万円、2口以上(任意)
- ◎授業料：一括もしくは2期分納
- ◎奨学金・特待生制度：成績優秀で経済的理由により就学困難と判断される者に授業料を給付(半年間～1年間)

進学指導の概要

高等部卒業生は、原則として全員が慶應義塾大学のいずれかの学部へ推薦入学を許可されます。そのため、ほぼ100%の生徒が同大学へ進学します。

高2から志望する学部について考えるように指導し、成績のみによる学部選びではなく、生徒自身が本当に何を学びたいかを考えさせるようにしています。

■併設大学進学者の進路の内訳



高等部では、中等部からの内進生約160名のほか、三田の慶應中等部生、日吉の慶應普通部生、高入生(全国卒生と帰国生)の合計約80名が加わり、高1から混合クラス編成となります。英語は1クラスを2つに分けて、少人数習熟度別授業で学びます。

高3では「MUN(模擬国連)」や英語劇を通して、さらなる英語表現力を育成するほか、選択外国語も設置。ドイツ

語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語から選択が可能です。また、各自の志望学部に合わせて、文系(I類)と理系(II類)に分かれるのも高3次。I類選択者には各自のテーマを設定し、資料検索・調査・分析・考察を通じて導き出す「論文実習」が課せられます。受験勉強に追われることなく、一人ひとりが自由に好きな学業に打ち込んでいるのが特徴です。

■併設大学(慶應義塾大学)への推薦状況

※データは慶應湘南藤沢高等部のもの

	文学部	経済学部	法学部	商学部	医学部	理工学部	総合政策学部	環境情報学部	看護医療学部	薬学部
17年	7名	70名	64名	35名	7名	18名	12名	16名	1名	2名
18年	7名	61名	64名	30名	7名	25名	14名	17名	1名	3名
19年	7名	67名	64名	20名	7名	33名	14名	24名	1名	5名

★指定校推薦枠(2019年度)制度なし

入試情報

■2019年度の入試結果

	募集人員	応募者	受験者	合格者	実質倍率	
一般1次	男子	約70	231	394	186	2.1
	女子		210			
一般2次	男子	約70	—	165	82	2.0
	女子		—			
帰国1次	男子	約30	帰国男子計110	160	80	2.0
	女子		帰国女子計88			
帰国2次	男子	約30	—	79	36	2.2
	女子		—			

○1次配点：算国英＝各100点 理社＝各50点
○合格最低点：非公表

19年の募集要項

※以下は2019年の募集要項です。2020年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日/1次2月2日

2次(1次合格者のみ)2月4日

募集人員/男女約100名(一般約70名 帰国約30名)

合格発表/1次2月3日 2次2月5日

手続締切/2月6日

試験科目/1次：一般4科・帰国4科＝国語(45分・100点)、算数(45分・100点)、理科(25分・50点)、社会(25分・50点)または一般3科・帰国3科＝国語(45分・100点)、算数(45分・100点)、英語(60分・100点)
2次：体育実技

面接/あり(2次で保護者同伴)

受験料/30,000円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】予約不要

ホームページで順次案内

【文化祭】

11月9日(土)10時～16時

11月10日(日)10時～16時

◆詳しくは学校ホームページをご覧ください。

サピックスOB・OGの声

- 広々としたキャンパスは、緑がとても豊かな環境です。鴨池という大きな池のほとりで、野鳥のさえずりが聞こえてきたり、近くの森でキノコを見つけたりと、季節が変わるたびに新しい発見があります。また、隣接する大学の売店まで買い物に行き、一足早く大学生気分を味わっています。
- 帰国生が多く、英語以外の言語に堪能な生徒もいて、国際感覚を磨くのにうってつけの環境です。高2からは第二外国語の授業も始まります。フランス語、ドイツ語、中国語などのなかから好きなものを選ぶので、何に挑戦しようかと今から楽しみにしています。